

タイトル	今田人形座
名称（学校・地域）	飯田市立竜峡中学校
日時・場所等	通年
ホームページ	<a href="http://ryukyojh.ed.iidanet.jp/">http://ryukyojh.ed.iidanet.jp/</a>

### 【教育活動の内容】

本校では総合的な学習の時間のうち20時間程度を「竜峡タイム」とし、地域探究をテーマに今田人形講座をその中の一つとして位置づけ、取り組んでいます。今田人形は学区である龍江地域に300年以上続いている「人形浄瑠璃芝居」です。昭和53年に今田人形の学習が郷土クラブの1つとして始まり、昭和55年に今田人形クラブが発足しました。途中、教育課程内のクラブ活動として、今田人形クラブが再編され、平成12年から現在の形となりました。現在は、地元今田人形本座より講師をお招きし、人形遣いや太夫のご指導をいただいています。

本学習の成果を示す場として、いいた人形劇フェスタや中学校文化祭や地元の祭典等での上演を含め、年に4～5回ほど上演しています。上演のために、生徒達は人形遣いだけでなく、太夫、口上、拍子木や人間の拍手の生音、まな板と杵を用いた効果音などの全てを分担して取り組みます。三味線の音に合わせ、3人で1体の人形を操作し、様々な効果音とタイミングを合わせ、いかに人間らしい仕草に近づけるかを考えながら、演技を通して、動きの型を学びます。また、全員が一体の人形を生かすために、自身の出番でない場面であっても他の人形の動きに注視し、全体の中の一部として全員が集中し演じます。

過去には台湾公演（平成14年、平成21年）、第5回全国民俗芸能大会（平成15年東京）、渋谷区民俗芸能公演（平成26年東京）など、国外、県外での出演をしてきました。また平成16年には『今田人形を伝える民俗文化教育』で『中日教育賞』を受賞しました。

本校で学んだ卒業生の中には、三味線弾きや、人形遣いで国内の第一線で活躍されている方もいらっしゃいます。また、成人して地元へ戻ってきたら、人形浄瑠璃芝居に関わりたいという感想を持つ生徒も多くいます。スポーツのように、競争などの観点を持つものでなく、演技や舞台を追究し続けるという、総合芸術としての価値を地域の伝統芸能に見出し、その心を脈々とつなげています。



太夫の指導を受ける生徒



人形遣いの指導を受ける生徒



大宮八幡宮での蠟燭上演



文化祭での上演



『伽羅先代萩』上演後 全員で集合写真